

1. 合併功労者六十人を表彰

その後、合併の実現に献身的に尽力したとして旧三町村の首長と議長六人が総務大臣表彰を受けるとともに、元合併協議会委員や元新町将来構想建設計画審議会委員、元特別職報酬等審議会委員合わせて五十四人に、美郷町長から感謝状が贈られました。



▲合併功労者として総務大臣表彰を受けた旧3町村の首長と議会議長

1. 「新たな幸せのスタートである」と願うことと知事が祝辞

来賓として出席した寺田典城知事は「美郷町は昨年の十一月、秋田県のトップを切って合併を成就させ、他

の市町村合併のモデルケースになった。合併するということは、大きくなって行政体質を強くし、行政コストも落とそうということだけではなく、合併してどういう夢を描けるかということ。この合併が、新たな幸せの新たなスタートであることを祈願する」と祝辞を述べられました。



▲祝辞を述べる寺田知事

1. 中学生三人が期待の言葉を発表 小学生はタイムカプセルにメッセージを託す

今回の合併記念式典には、町内の中学校二年生全員が出席するとともに、小中学生がさまざまな形で参加しました。

式典では、美郷町に期待することと題して、町内の中学校二年生三人が発表するとともに、各小学校の代表七人が、十年後の自分たちへの

合併記念式典で 表彰された皆さん (敬称略)

【総務大臣表彰】

- 坂本 茂弘(旧六郷町長)
- 藤嶋長右エ門(旧千畑町長)
- 松田 知己(旧仙南村長)
- 佐々木順吉(旧六郷町議会議長)
- 後松 一成(旧千畑町議会議長)
- 伊藤 光明(旧仙南村議会議長)

【美郷町感謝状】

○元合併協議会委員

- 藤田 昭子(美郷町飯詰)
- 大久保伸一(旧千畑町議会議員)
- 泉谷理毅男(旧仙南村議会議員)
- 飛澤龍右エ門(旧六郷町議会議員)
- 高柳 照見(美郷町六郷)
- 熊谷 良夫(旧六郷町議会議員)
- 石田 靖子(美郷町本堂城回)
- 鶴谷 二郎(美郷町飯詰)
- 中田 龍雄(美郷町金沢西根)
- 進藤 敏美(美郷町本堂城回)
- 小西玄太郎(美郷町六郷)
- 橋本智登世(美郷町六郷)
- 佐藤 時夫(旧仙南村議会議員)
- 高橋 勝弘(美郷町金沢東根)
- 高橋 正治(旧千畑町議会議員)
- 本間 智(仙北地域振興局長)
- 畑山 傳一(元六郷町議会議員)
- 永井 久雄(旧六郷町議会議員)
- 福田 守(旧仙南村議会議員)
- 煙山多三郎(旧千畑町議会議員)
- 鈴木 峰晴(元仙北地域振興局長)
- 山口 博司(元仙北地方部長)

○元新町将来構想建設計画審議会委員

- 伊藤 福章(旧仙南村議会議員)
- 高橋 福松(旧千畑村議会議員)
- 泉 繁夫(旧六郷町議会議員)
- 高階 眞龍(元千畑町議会議員)
- 田口 繁男(旧千畑村議会議員)
- 吉野 久(旧六郷町議会議員)
- 竹村 由広(旧六郷町議会議員)
- 藤田亥左夫(旧仙南村議会議員)
- 渋谷 俊二(旧仙南村議会議員)
- 熊谷 文善(美郷町土崎)
- 伊藤アケ子(美郷町土崎)
- 橘 正幸(美郷町金沢東根)
- 矢尾 奎二(美郷町六郷)
- 田口 勝久(美郷町六郷東根)
- 田口 明美(美郷町六郷東根)
- 木村 孝(美郷町金沢西根)
- 小田長良吉(美郷町野荒町)
- 江畑智左枝(美郷町飯詰)
- 山王丸戦二(元仙北地方部副部長)
- 高橋 久男(旧六郷町議会議員)
- 小田長輝一(旧仙南村議会議員)
- 齊藤新一郎(旧仙南村議会議員)
- 山岡 史直(仙北地域振興局総務企画部長)

○元特別職報酬等審議会委員

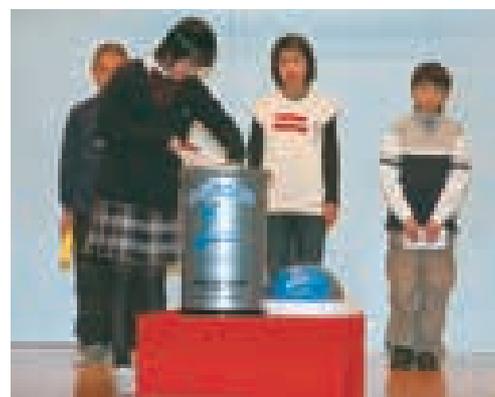
- 佐藤 成輝(美郷町金沢西根)
- 高橋 進(美郷町千屋)
- 佐々木清三(美郷町六郷)
- 黒丸 剛(美郷町六郷)
- 田口 成子(美郷町六郷東根)
- 高橋 秀雄(美郷町畑屋)
- 佐藤 定子(美郷町土崎)
- 照井 昇(美郷町境田)
- 斎藤 一夫(美郷町金沢)

メッセージを込めた作文やビデオテープ、図画などをタイムカプセルに入れるなど、将来への夢や希望を託しました。なお、このタイムカプセルは町学友館に保管され、美郷町が誕生十周年を迎えたときに開封される予定になっています。

また、当日出席できなかった町内の小中学校や六郷高校の生徒からは、新町誕生を祝うビデオメッセージが寄せられ、放映されました。



▲タイムカプセルセレモニーに参加した小学生の皆さん
左から・高橋真さん(金沢小6年)、高橋愛さん(仙南西小6年)、久米康平さん(仙南東小4年)、照井洋介さん(千畑南小6年)、中村穂乃香さん(千屋小6年)、藤井遼将さん(六郷東根小6年)、加藤将人さん(六郷小6年)



思い出の詰まった品々を▶
タイムカプセルに投入

また、美郷町のシンボルとなる町の木・花・鳥・魚がお披露目されました。

町の木は「赤松」。本町全域に広く見受けられ、特に千屋の松並木は新日本街路樹百景に選定されるなど、他の市町村に誇れるシンボルです。

花は「ラベンダー」。本町には一・五ヘクタールにも及ぶラベンダー園があり、開花期間中には五万人を超える観光客が訪れます。壮大で美しく甘い香りは本町のイメージにあさわしいものです。

鳥は「雁(かり)」。本町は「後三年の役」合戦の古戦場でもあり、「雁行の

1. 町の木・花・鳥・魚をお披露目



町の鳥・雁



町の木・赤松



町の魚・ハリザッコ



町の花・ラベンダー

「乱れ」の逸話は広い世代に知られており、歴史的にも本町にふさわしいものです。

魚は「ハリザッコ」。本町の清水等に多く見受けられ、美しい郷にふさわしいイメージがあります。正式な呼び名はイバラトミヨですが、地域ではハリザッコとして親しまれています。

なお、当日会場の大型スクリーンでも紹介された町の木・花・鳥・魚のイラスト(右)は、絵ががきとして町内全世帯に配布されています。

また、採用作品に応募していただいた方の中から抽選で五十人に、町から記念品が贈られています。